

# きしゅう会計よもやまかわら版 Vol.47

2020.7.26

いつもありがとうございます。きしゅう会計の名倉です。



コロナ第二波？猛威が収まりませんね。今は耐える時でしょう。感染に気を遣い、事業も生活も基盤をしっかりと見直し、改善していく時期だと思います。そういう訳でもないのですが、7月に新入社員があり、2年目のスタッフ3人と一緒に、3日間研修を実施しました。20代2人、30代2人で女性ばかりです。もちろん講師は私です。初めに税金や経済の話をして、税理士事務所が社会のどの部分の役割を果たしているのかというマクロな知識を頭に入れてもらい、それから会計ソフトや、申告書作成ソフトの使い方を説明すると言った流れです。実はお恥ずかしいところ、今まで JT のみで、こういった研修って初めてといつていいくらい。そこでいくつもの気づきや衝撃がありました。上場企業の決算書の解説をしている時、日本航空(JAL)の破綻話をしたのですが「えっ JAL って破綻したことあるんですか？」となんと全員知らない！(\*\_\*; (因みに JAL の破綻は 2009 年)「えっ知らない！そっか、それでその JAL の再建に貢献したのが、京セラの稻森さんで」「え、京セラってあの京セラドームですか！稻盛さんって誰ですか？」これも全員知らない。おお！ ジェネレーションギャップ(\*\_\*;



別に地方の会計事務所で会計や申告業務を

するだけなら、確かにこのような知識は必要ないかも知れない。でもそれじゃ面白くないでしょと思い、これからは経済の大きな仕組みや役割、ニュースについても定期的に研修しようと思った次第です。でも、ネーミングライツって効果的！ と同時に思いました。もし、京セラが大阪ドームの命名権を買っていなければ、研修参加4人全員、「京セラってなんですか？」となってた訳で。年間数億円と言われる使用料、値打ちあるようです。

ネーミングライツと言えば少し前ですが、財政難の大坂泉佐野市が市の命名権を売りに出して話題になっていましたが、その後名称が変わってないようなので、進んでいないようですね(市内の施設はいくつも命名権売却できたようです)。この泉佐野市が全国区でもっと有名になったのが、ふるさと納税についての国との裁判。ルール改正前に高い返礼率に加え amazon の商品券もプラスするなど、新制度が始まる前に、激しく駆け込み需要を募りました。そ



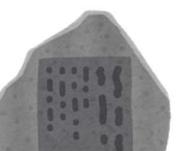
の結果、2018 年は国全体で約 5000 億円のふるさと納税があったのですが、泉佐野市が約 500 億円と 10% のシェアを獲得。これが国から見るとお行儀悪かったのでしょうか、2019 年 5 月から始まった新制度において「過去に制度の趣旨に反して多額の寄付金を集めた自治体を除外できる」と告示して、泉佐野

市を含む 4 自治体を新制度から除外しました。

この件で、泉佐野市は裁判を起こして、先日最高裁で泉佐野市の勝訴が確定しました。但し最高裁判決の裁判官の中には「泉佐野市の勝訴となる結論に、いさか居心地悪さを覚える」との発言もあったようです。ただ、後で作ったルールによって裁くようなことは居心地悪くても、あってはならないと思いますので、僕としてはこの結論はあります。



そしてこのやりとりで思い出すのが東京裁判。詳しくは書きませんが、完全なあと出しジャンケン。その東京裁判で「この裁判は国際法にも違反した法に基づかない事後法による裁判であり全員無罪」と 1 人異論(正論)を唱えてくれていたのがインドのパール判事。でも判決は覆ることなく、泉佐野市によ



うに控訴上告もできず、そのまま結審。(後にマッカーサーも「東京裁判は誤りであった」と発言しています)でも日本では残念ながらこのあたりはあまり報道されていません。パール判事は京都の靈山護国神社に顕彰碑が建立されています。一度行こうと思っているのですが、何年も実現できません。コロナが落ち着いたら行ってみます。そうそうこの神社には坂本竜馬のお墓もあります。やっぱり一度は行ってみたいですね。

戦争の話を出したのは、もうすぐお盆だからという訳ではないのですが、コロナの死者が世界全体で 14 万人を超えたらしいからです(7/24 時点)。これは第一次世界大戦の犠牲者の数 11.6 万人を



超えて、このまいくと第二次世界大戦の犠牲者 40.5 万人に迫るかも知れない規模。つまりダメージは戦争なみ。その原因を作った中国は無責任極まりない態度で、謝罪の言葉もなく、隠蔽体質も変わらず、日本や台湾、インド等他の国の領土を侵犯し続けています。先日ポンペオ米国務長官から意味深な発言がありました。米ソ冷戦当時、最貧国のひとつであった中国を発展させて、豊かにすれば、ソ連との関係が薄れ、自由で友好的な国になると、当時のニクソン大統領が打ち出した施策は失敗だったと。

そして、今中国を変えないと、逆に中国が世界を変えてしまうとも。

中国共産党、習近平ってドラえもんでいうと「ジャイアン」です。でもジャイアンとは大きく違うところがあります。それはテレビ版のドラえもんでは、ジャイアンは完全に悪ガキですが、映画版のドラえもんではジャイアンも含めみんな仲良しです。ドラえもんが長寿番組になっているのは、そんなジャイアン的一面があるからかも。中国共産党も、ジャイアンの映画版で見せるような一面がないと、未来永劫って訳にいかないよね。



## 「観た！聴いた！読んだ！」①

前回 amazon プライムビデオの話を書きましたが、今回もその続き。昨日ですが、見つけてはいけないタイトルを見つけてしました。それは、アニメ「四月は君の嘘」。



何故見つけてはいけないか。それは何度も見て、何度も泣いてしまうからです。このかわら版の読者の方すでに観られた方はどのくらいおられるのでしょうか？まだ観られていない方はこれだけでもファイヤースティックを買ってもいいかと。

新川直司著の漫画が原作のこのアニメは5年前に放送されて、最終回では涙が止まりませんでした。ストーリーもさることながら、映像も音楽も、遊び心も質が高く、僕にとっては、付けいる所が見当たらない作品。主役は天才ピ



アニスト有馬公生と天才ヴァイオリニスト宮園かをりの2人のお話なんですが、その周りを固める登場人物もみんな魅力的。コンクールで勝てる演奏と、観客から喝采を貰える演奏はイコールではないということ、その現実と指導者である病気の母親との間で苦しむ公生の前に突然現れた宮園かをりが彼の世界を変えていく。とても綺麗に仕上がっていて、見終わると涙が溢れ、ちゃんと生きなきゃと思う作品です。お薦め度☆☆☆☆☆

## 「観た！聴いた！読んだ！」②

今月は全く知らなかった人の本にも感動した月でした。皆様はご存じですか？



滝本哲史氏を。  
「2020年6月30日にまたここで会おう」という著書を。オーディオブックで聞き放題のタイトルでたまたま見つけたこの本は、

2012年6月30日に東京大学の伊藤謝恩ホールにて行われたもので。生徒の参加資格を29歳以下に限定して、約300人の10代・20代が全国から終結した伝説の講義です。どのくらい有名な人かも知らず、聞いての感想は「惜しい人を亡くした」です。実はタイトルにある日付はもう過ぎていますが、2019年8月10日に肺臓癌で亡くなれたとのこと。オーディオブックは本人の講義をそのまま収録されたものだったので、音声からも頭の切れが分かり、厳しいけど、暖かい人と伝わります。そして凋落していく日本に危機感を持ち、今こそ若者一人1人が自分で考え行動していかなくならないと、そうすることで日本はオフコンなんかじゃない、まだまだ面白いと、熱くというかキレッキしで語られています。



面白かった内容の一つが、天動説からコペルニクスやガリレオが唱えた地動説に学説が変わったのは、世代交代であったということ。いくら理詰めで正論をいっても、

古い人たちは「そりゃそうだな、そちらが正しい」なんて絶対ならないそうです。古い学説を唱える学者が高齢化して死んでいったので、学説が変わったというのが真実のこと。これはニュートン力学も、ダーウィンの進化論も同じだそうです。つまり、パラダイムシフトとは世代交代だそうです。なので、なかなか世の中は変わらないのはしかたのないこと、若い人達が自分の頭で考え、自分の考えを持ち行動し続ければ、いつか世界は変わる。日本を変えることができると。本の出だしは「人のふりしたサルにはなるな」から始まるこの本。カリスマ的存在の人がいい方向に教えてくれるなんて思っていたらいかんよと強く語っています。読むのもいいけど、臨場感半端ないので、オーディオブックで聞く方をお薦めします。

## 「節税とお金②」

ずっと低金利の日本。今でも株は怖い、預金は安全と思われていらっしゃる方も多いです。でも本当にそうでしょうか？時々税務調査であったこんな実体験を話すことがあります。



相続の税務調査で見つかった古い証書。内容は金1,000円。金利5%

の貸付信託（普通預金みたいなもの）。大正時代に購入されたこの貸付信託。なんとずっと運用され続けていたのです。そこで証券会社に行き、お金に換えてきました。さてここで質問です。一体いくらになっていたでしょうか？

大正時代なんて、たぶん、土地や家が5円や10円で買った時代。その時代の1,000円です。10億円、いやいや100億円はあるんじゃ、

と思われる方も多いでしょう。でも正解は、43,000円です。えって思われる方も多いと思いますが、冷静に考えると、43倍になっているのです。悪くはないはず。でも喜べないのはその間にインフレが起こり、お金の価値を大きく下げてしまったからです。もし、株を買っておけば億はくだらなかつでしょうね。預金は金利が決まっているだけ。世の中がどうなろうが、その約束がされているだけなんです。一方株はその時代、その局面に応じて、経営陣が会社の財産を減らさず、増やすように、対策を考えてくれるので、インフレにも強いのです。もちろんダメな経営者の株を買っていたらゼロになる可能性もあるでしょう。でもこの話から預金も絶対安心なんて言えないですね。いかがですか？お金に関する考え方も、パラダイムシフトが必要なのではないでしょうか。

## 「55回目の誕生日」

本日2020年7月26日は55歳の誕生日。前にも書きましたが、誕生日は自分を生んでくれたお母さんにありがとうっていう日です（映画評論家の故淀川長春氏が昔テレビで言っていました）人生の折り返しをもう大きく過ぎています。（110歳はなかなか難しいでしょ笑）



四月は君の嘘を見て、再び蘇った「ちゃんと生きなきゃ」っていう感情。今度は早々に風化させないようにしなきゃ、もう何回もやり直すことができない年齢だもんね。今日からジョギングを再開しました。まずは、フルマラソン完走を目指します！